

## パーソナルファイナンス学会

JAPF News No.30~35 2016. 1.27

### 第 16 回全国大会を振り返って

会長 桑名義晴 (桜美林大学)

本学会第 16 回全国大会は、去る 11 月 28 日と 29 日の両日、福井大学において開催された。今回の統一論題は「パーソナルファイナンスと地域創生」であった。

いま日本では急速な少子・高齢化で、地域が衰退するとの懸念が大きい。このため、政府と多くの地方自治体が地域活性化に向けての戦略や諸施策の作成に着手している。こうした昨今の事情に鑑み、地域経済の活性化や創生に向けて、パーソナルファイナンスがどのような役割を果たすことができるかなどを議論することはきわめて意義深い。その意味では、今回の統一論題はまさに時宜を得たものであったと思う。

今回の大会では、統一論題関連で、基調講演が 2 つ、統一論題報告が 1 つ、そして自由論題報告が 8 つ行われた。基調講演では、益永哲郎氏 (益茂証券 (株)) による「投資家と共に地域を育てるー益茂証券の歩みー」と Steven Lim 氏 (ニュージーランド Waikoto 大学) による“Financial Literacy in New Zealand”が行われた。前者では、証券会社と投資家が共に地域を育てるとの基本理念のもとで、地場の証券会社の歩みとその経営者である益茂氏のこれまでの多様でユニークなビジネス活動について語っていただいた。後者では、ニュージーランドにおける個人の金融リテラシーの現状について報告いただいた。また、統一論題では、永野聡氏 (福井大学) による「震災復興における地域商業拠点施設 (ゆりあげ港朝市) に関するファイナンスの取り組み」が報告された。東日本大震災の津波被害を受けた宮城県閑上地区の朝市の復興に対して、民間主体のファイナン

スが果たした役割やその諸課題について、詳細に報告していただいた。これからの日本各地の創生に向けて、非常に参考になる示唆に富む報告であった。

自由論題報告では、ここ数年の全国大会と同様、近年のパーソナルファイナンスにかかわる焦眉の諸課題についての報告が多かった。生活協同組合等の多重債務者などへの貸付事業、高校生や大学生への金融教育、家計の金融行動と金融機関経営、障害者による起業と金融、総量規制の影響などに関する報告があった。今年は例年より多い報告数で、その内容も興味深いレベルの高いものが多かったように思う。

今回の全国大会を通じて痛感した点は、日本の現在および将来における重要課題である地域創生には、パーソナルファイナンスの果たす役割がきわめて大きいということである。現在、日本政府は地域創生に向けて創造的な事業提案をした自治体に対し、交付金を支給する施策を提案しているが、それだけでは限界があるように思われる。かつてもこのような政府の施策があったが、成功例は多くない。そのような政府主導の施策も大事かもしれないが、民間レベルの下からの事業提案こそが真の地方創生につながるように思われる。そのほうが地域に根差した現実的で持続可能な事業が創造される可能性が大きいからである。このようなケースでは、民間のファイナンス、とりわけパーソナルファイナンスの果たす役割が大きくなる。現在、パーソナルファイナンスに関して、多様なスキームが開発されつつある。こうしたスキームを提案することも地方創生に欠かせない。ここにまた、本学会の社会的な役割もあると思われる。

最後に、本全国大会の準備段階から大会終了まで、プログラム案の作成、大会当日の運営などで、多大な尽力をいただき大会を成功へと導いてくださった飯田隆雄大会委員長 (札幌大学) ならびに竹本拓治同実行委員長に心から感謝申し上げます。

\*\*\*\*\*

## 2015 年度「研究奨励賞」受賞作発表！

今年度より創設された「研究奨励賞」は、これまでの応募に加えて、Web ジャーナルに掲載された論文が自動エントリーされることになり、2015 年度は、以下の作品が受賞しました。

第 16 回全国大会会員総会では、表彰式が行われ、桑名義晴会長より記念の盾が授与されました。

「最低賃金値上げ以降のタイ日系消費者金融企業における人材開発の必要性

—経営現地化モデルと「求められる人材像」—

佐藤直樹、竹本拓治（福井大学）著

（『パーソナルファイナンス研究』No.1, pp41-53）

\*\*\*\*\*

### 受賞のことは

#### 研究奨励賞受賞にあたって

佐藤直樹（福井大学）

竹本拓治（福井大学）

このたびは、研究奨励賞を頂戴いたしましたこと、大変有難く感謝致します。学会長の桑名義晴先生、並びに委員会にて審査に当たっていただきました先生方に深く御礼申し上げます。

対象となった「最低賃金値上げ以降のタイ日系消費者金融企業における人材開発の必要性—経営現地化モデルと「求められる人材像」」は、2013 年に日系タイ企業への現地でのヒアリングデータを元にしております。軌を一にしてタイにて実施された最低賃金の値上げにより、タイにおける「今後の市場の成長性の魅力」も増しました。またアジアにおける日系企業の動向として「チャイナ+1」や「中国からの撤退」という流れのなかでリスクの移転先や逃避先として、タイという選択が行われつつありました。そのような変化の中、

日系企業としての経営方針と、方針に基づく人材育成の実態と未来を検討したものであります。

本論文は、社会学的視点と経済学的視点とを組み合わせて成立しております。対象企業に対して、社会学的な分析（特に企業行動と人材育成に対して）とマクロ経済的な分析視点を施し、企業行動と人材育成について検討を加えました。その点で、ありそうでなかったコラボレーションが実現していると考えております。人材育成には、経営戦略としてコストと能力のバランスを考えた起用が不可欠だと思いますが、人材の未来をどのように処遇していくかという観点も重要であると考えます。論文中では、キャリアビジョンの設計の必要性として末尾で触れました。著者らの専門分野である「持続可能な社会形成や環境社会論」（佐藤）、「アントレプレナーシップ、クラウドファンディング」（竹本）では、個々のプロジェクトなどに、いかにして地域や個人のファイナンスを効果的に組み込んでいくかが、近い将来の大きな課題となっています。本論文で描いたタイにおける経済成長とパーソナルファイナンスの動向は、そうした視点とも絡ませ合うことでより大きな実りとなると考えております。

最後になりましたが、関係する先生方、実務家の方々からの今後のご指導ご鞭撻をお願いして、受賞の言葉を締めくくりたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



左から竹本氏、佐藤氏

\*\*\*\*\*

## 初の名誉会員に西村吉正氏

当学会は2000年3月に創設され、昨年で15周年を迎えました。この間に学会活動へ多大な貢献をされた西村氏（早稲田大学名誉教授）が当学会初の名誉会員に第16回全国大会会員総会にて推挙されました。

\*\*\*\*\*

## 第16回全国大会『報告要旨』をアップロード

昨年11月28日～29日に開催された第16回全国大会の要旨をWebサイトにアップロードしました。（一部の報告を除く）

\*\*\*\*\*

## 第16回全国大会（福井大学）を写真でご紹介

### 統一論題招聘講演



スティーブン・リム氏



益永哲郎氏



報告会場



福井大学サークル「よっしゃこい」による演舞（懇親会会場）

多くの会員各位にご参加いただき、盛況に終了できましたことに加えて、公益財団法人福井観光コンベンションビューロー様より助成金を交付いただきましたことに心より御礼申し上げます。

\*\*\*\*\*

## Web ジャーナル『パーソナルファイナンス研究』

### No.3 投稿募集

No.2は、約半年間の審査期間を経て、年末にアップロードされました。投稿は、大会で発表しなくても可能です。（但し、会員に限ります）

例年締切は、4月末日です。多数のご投稿をお待ちしております。

### 執筆要項（抜粋）

1. 原稿は日本語または英語とする。日本語原稿はA4判使用、20,000字以内、英語原稿はA4判使用、7,500ワード以内の分量を基準とする。いずれもタイトル、要旨、本文、謝辞、注、参考文献、図表等を含んだ分量である。
2. 原稿はWord形式で保存しメールの添付ファイルで1部、ハードコピーで1部提出する。



\*\*\*\*\*

### 教育部会からのお願い

日本の高校生・大学生・専門学校生のパーソナル・ファイナンスに関する理解度を調査するために、昨年度より『パーソナル・ファイナンス基礎テスト』を実施しておりますが今年度まで期間を延長しております。ご講演・講義やセミナー等で実施いただける場合には、山岡道男（早稲田大学）までお申し込みください。

基礎テスト締切：2016年2月29日

お申込については、Webサイトをご覧ください。

\*全体のテスト結果は、2016年度の全国大会で報告予定です。

\*少人数の実施でも結構です。

お問合せ・お申込：yamaoka@y.waseda.jp

教育部会 部会長 山岡道男

（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）

\*\*\*\*\*

### 第3回消費者金融部会開催のご案内

きたる3月28日（月）に早稲田大学にて第3回消費者金融部会を開催します。平将明氏（衆議院議員）がご講演予定です。詳細は決まり次第にWebサイトにてお知らせいたします。

\*\*\*\*\*

### 東部部会研究発表者募集

開催日：2016年4月調整中

報告数：1名～2名

会場：早稲田大学構内にて調整中

\*発表希望者は、報告要旨（A4サイズ4枚以内）を添えて、リエゾンオフィスまでお申し込みください。なお、コメンテータからフルペーパーの要望がある場合がございますので、提出できるようあらかじめご準備をお願いします。

応募締切：3月15日（火）

お問合せ：リエゾンオフィス japf@ibi-japan.co.jp

\*\*\*\*\*

### 学会賞・研究奨励賞候補作募集

#### ◎学会賞（単行本）

\*対象文献：2015年7月から2016年6月末日までに公開されたもの

#### ◎研究奨励賞（論文）

\*年齢制限でなく、アカデミックなキャリアが浅いという意味で若手研究者を奨励するためのアワードです。

\*web ジャーナルに掲載された査読付き論文は自動エンタリーされます。

\*対象文献：2015年7月～2016年6月末日までに公開されたもの。

応募・推薦締切：2016年7月29日（金）

お問合せ：リエゾンオフィス japf@ibi-japan.co.jp

\*\*\*\*\*

#### 会費納入のお願い

いよいよ2015年度（第16期）も残すところ2か月あまりとなりました。今期会費の納入がお済でない方は、早めの納入をお願いいたします。PayPalでクレジットカード決済が可能です。ご利用ください。\*Webサイトトップページの新着情報の下から9行目13.11.1の一文をクリックしてください。お支払いのページにジャンプします。

\*\*\*\*\*

#### 新会員紹介 2014.11.27～2015.11.29

- 二木 恵 金沢大学総合メディア基盤センター
- 永野 聡 福井大学産学官連携本部
- 中西孝平 大阪市立市民交流センターにしたり
- 林 恵子 弁護士法人松尾綜合法律事務所
- 宗形祐基 東京情報大学大学院

\*新規会員募集中です。ご推薦お待ちしております。（承認に際しては、提出月の翌月初旬を目途に電子理事会にて審議）入会申込書はWebサイトからダウンロードしてお使いください。

\*JAPF Newsは記事中すべて敬称略としております。

JAPF News 第30-35号  
 発行日：2016.1.27  
 発行：パーソナルファイナンス学会  
 監修：国際交流・広報委員長  
 土井一生（九州産業大学）  
 編集：リエゾンオフィス  
 【業務委託】(株)国際ビジネス研究センター  
 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518  
 司ビル 3F ☎ 03-5273-0473